

COMET

SYNCHRON-04

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメントSYNCHRON04をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機はモノブロックの利便性を追求し小型軽量を図るとともに調光範囲をFULL～1/64まで1/6EVステップという高精度の調光を実現いたしました。またCXシリーズの豊富なアクセサリが使用でき、撮影表現のはばを大きく広げます。

なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいた上でご活用ください。

付属品

● ACコード	1本
● ハロゲンランプ 200W ブルーコーティング	1本
● シンクロコード(ホーンジャック) ストレート 5m	1本
● ヒューズ 8A(ヒューズホルダー内に格納)(予備ヒューズ 2本)	1本
● ヒューズホルダーオープナー	1本
● 取扱説明書	本書
● 保証書	

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1～4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6～7
4. 操作手順	8～9
5. 出力バリエーター	9
6. モデリングランプバリエーター	10
7. サウンドモード	10
8. 不発光警報	10
9. フォトセル	11
10. 過熱警報	11
11. モデリングランプの交換	12
12. ヒューズの交換	12
13. ガラスグローブの着脱	13
14. キセノンランプの交換	13
15. 保証とアフターサービス	14
16. 仕様	15
17. 寸法図	16

1 安全のため特にご注意ください

- ご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

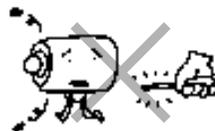


警告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部には、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部に長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態、素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



- モデリングランプの交換や清掃など、キセノンランプ部に触れるときは、ランプの電極部には絶対手を触れないでください。

メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も内部には長時間高電圧が残っており感電の恐れがあります。特に清掃を行うときは、一日以上使用していないときに限って行ってください。



- 本体スリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。





- ストロボは発光時、高温の熱を發します。人体に向けて近い位置で發光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。

- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。

- 使用電圧はAC100V±10% (50/60Hz)です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

- ACコードプラグを着脱する時は必ずメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。





注意



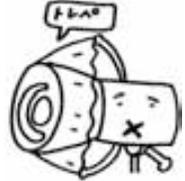
- 使用中や使用直後はガラスグローブ、キセノンランプとモデリングランプはかなりの高温になります。十分に温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。

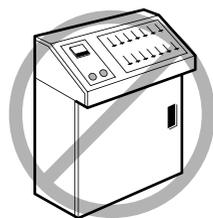


- 使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取ってください。



2 使用上のご注意とお願い

- 調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。



- ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。

特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。

- 過酷な使用で万一過熱警報がはたらいたときは出力表示 (Ws) が点滅し、ブザーで知らせます。

このときはメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、内部の温度が下がるまで使用を中止してください。

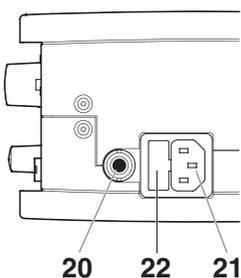
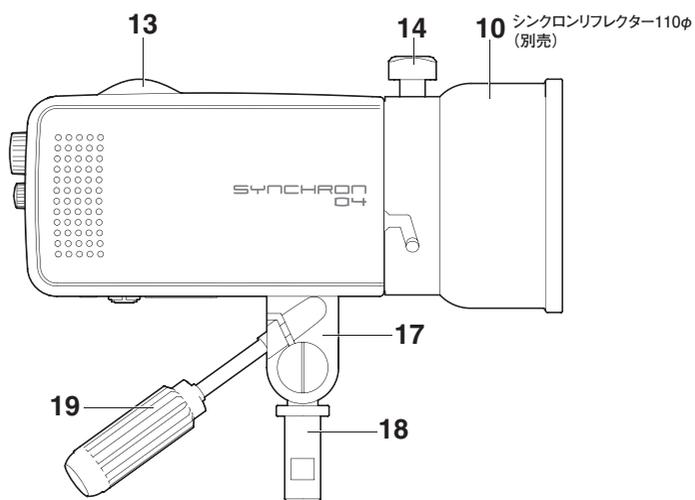
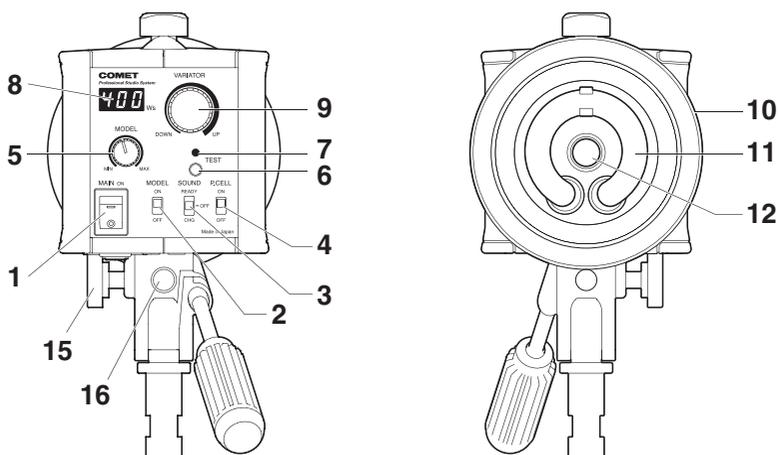
- 赤外シンクロ装置 (当社製) の受信機は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。

蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

- 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置 (当社製) で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。このときはすべてのストロボ電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。

赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のときは、同調発光しない電源部が出ることがあります。

3 各部の名称とはたらき

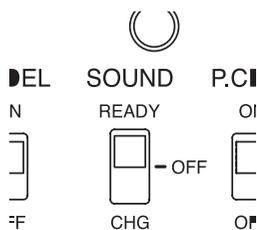


-
- | | | |
|-----------|----------------------------------|---|
| 1 | メインスイッチ (MAIN) | AC電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にし、ACコードプラグをコンセントから抜き取ってください。 |
| 2 | モデリングランプスイッチ (MODEL) | モデリングランプを「ON/OFF」します。 |
| 3 | サウンドスイッチ (SOUND) | 「充電完了 (READY)」「充電中 (CHG)」「OFF」を切り換えます。 |
| 4 | フォトセルスイッチ (P.CELL) | 他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。 |
| 5 | モデリングバリエーター (MODEL) | モデリングランプの光量を調節します。「MAX」側に回すと明るくなり「MIN」側に回すと暗くなります。 |
| 6 | テスト発光スイッチ (TEST) | 充電完了後、軽く押すと発光します。 |
| 7 | 充電完了ランプ
不発光警報 | 充電が完了すると点灯します。また、不発光が生じたときランプが点滅しブザー音で知らせます。 |
| 8 | 出力表示 (Ws)
過熱警報 | 出力をデジタル表示します。また、内部の電子部品が所定の温度を超えたとき。出力表示が点滅しブザー音で知らせます。 |
| 9 | 出力バリエーター (VARIATOR) | ストロボの出力をFULLから1/64まで1/6EVステップで調光します。 |
| 10 | リフレクター | 専用シンクロリフレクター 110φ (別売) をはじめCXタイプリフレクター (別売) も使用できます。 |
| 11 | キセノンランプ | ストロボの発光管です。使用中、使用直後はかなりの高温になります。絶対に手をふれないでください。 |
| 12 | モデリングランプソケット | ハロゲンランプAC100V200Wまで使用できます。定格を必ずお守りください。 |
| 13 | フォトセル / 充電完了ランプ
不発光表示 | 充電が完了すると点灯します。不発光が生じると点滅しブザー音で知らせます。フォトセル受光素子が内蔵されています。 |
| 14 | リフレクター固定ネジ | リフレクターをセットしてネジで固定します。 |
| 15 | アンブレラ固定ネジ | アンブレラ軸を締めつけ、固定します。 |
| 16 | アンブレラ取付け穴 | アンブレラを使用するときは、この穴にアンブレラ軸を通します。 |
| 17 | 雲台 | 本体を支える部分で、パン棒により角度を調整して固定します。 |
| 18 | ダボ | 17φダボ受スタンドに入れて本体を固定します。 |
| 19 | パン棒 | 雲台を操作するハンドルです。本体を動かす時に使用します。 |
| 20 | シンクロソケット | ホーンジャックタイプのシンクロコード (付属品) でカメラと接続します。 |
| 21 | ACコネクター | 付属のACコードで本機をコンセントに接続してください。使用後は必ずコンセントからACプラグを抜いてください。 |
| 22 | ヒューズホルダー | 電源部を保護します。ヒューズ定格をお守りください。 |

4 操作手順

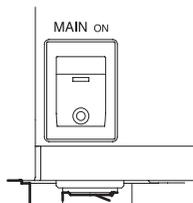
■ 1. サウンドモードを選択してください

充電状態を知らせる音が必要なときは、サウンドスイッチ (SOUND) ③を充電中音 (CHG)、充電完了音 (READY) のいずれかにセットします。



■ 2. ACコードを接続してください。

メインスイッチ (MAIN) ①が「OFF」になっていることを確かめてから、付属の AC コードを本体の AC コネクター口へ確実に差し込んでください。その後 AC プラグをコンセントへ差し込みます。

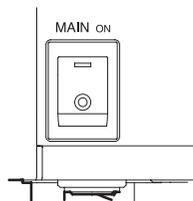


■ 3. メインスイッチを「ON」にしてください

メインスイッチ (MAIN) ①を「ON」にします。出力表示 (Ws) ⑧が点灯し、充電が始まります。

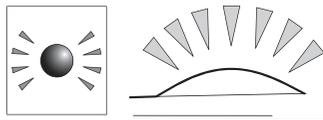
【ご注意】

- メインスイッチ (MAIN) ①を「ON」にすると、出力表示 (Ws) ⑧に前回の最終発光出力 (Ws) が表示されます。



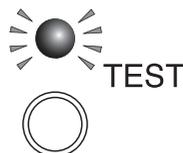
■ 4. 充電の完了

充電が完了すると本体上部のフォトセル / 充電完了ランプ⑬と操作パネル上の充電完了ランプ⑦が点灯し発光準備が完了します。



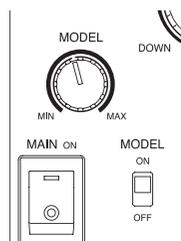
■ 5. テスト発光をしてください

テスト発光スイッチ (TEST) ⑥を軽く押し、正常に発光することを確認してください。



■ 6. モデリングランプモードを選択してください

モデリングランプを使用するときモデリングランプスイッチ (MODEL) ②を「ON」にし、モデリングバリエーター (MODEL) ⑤で光量を調整します。



■ 7. カメラとのシンクロを確認してください

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストを行います。

【お願い】

- 本番撮影をされる前に、使用カメラでのテスト撮影を行いシンクロ (同調) 等のテストをされるようお勧めします。
- シャッター速度を 1/60 秒から遅い速度でご使用ください。
- フォーカスプレーンシャッターで先幕 / 後幕シンクロ機能のある場合は、先幕シンクロでご使用ください。後幕シンクロでは、発光してもシンクロ (同調) しません。

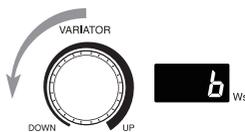
5 出力バリエーター

出力を FULL から 1/64 まで調光します。

※ エンコーダーダイヤルを採用しております、ダイヤルはエンドレスで回りますが出力の最高値と最低値からは、変わりません。出力表示 (WS) ⑧でご確認ください。

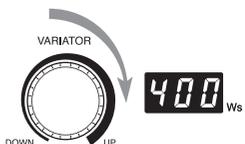
■ 出力バリエーター (VARIATOR) を下げたとき

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーター ⑨を (DOWN) 下げても内部のメインコンデンサーに溜められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定値まで下がりません。この場合、一度発光させてください。再度充電が完了すると設定した出力値になります。



■ 出力バリエーター (VARIATOR) を上げたとき

出力バリエーター ⑨を (UP) 上げると、設定された出力値まで自動的に充電が行われますから、発光操作は必要ありません。このときフォトセル / 充電完了ランプ ⑬がいったん消灯し、充電が完了すると再び点灯します。



6 モデリングランプバリエーター

■ モデリングランプの点灯と消灯

モデリングランプスイッチ (MODEL) ②で「ON」点灯「OFF」消灯を選択します。

MODEL

ON



OFF

■ モデリングランプの調光

モデリングランプスイッチ (MODEL) ②を「ON」にします。モデリングバリエーター (MODEL) ⑤を「MAX」側に回すと明るくなり「MIN」側に回すと暗くなります。

MODEL



MIN

MAX

7 サウンドモード

サウンドスイッチ (SOUND) ③で選択します。

■ READY

充電が完了したときに、ブザーが鳴ります。

■ READY

SOUND

READY



OFF

CHG

■ OFF

充電状況を確認するためのブザーが鳴りません。

■ OFF

SOUND

READY



OFF

CHG

■ CHG

充電中にブザーが鳴り、完了するとブザーが止まります。

■ CHG

SOUND

READY



OFF

CHG

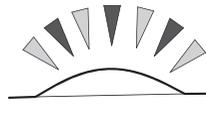
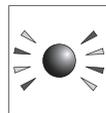
- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

8 不発光警報

■ 充電完了後の不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しなかったときは、ブザーが鳴り、同時に充電完了ランプ⑦・フォトセル/充電完了ランプ⑩が点滅します。

充電完了前に発光操作を行ったとき、発光はせず充電完了ランプ⑦・フォトセル/充電完了ランプ⑩が点滅して、ブザーが鳴ります。



■ 警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。

また、メインスイッチ (MAIN) ①を一旦「OFF」にすることで解除できます。

9 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光をさせるとき「ON」にします。

【お願い】

- 赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。また、フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 室内照明に蛍光灯を使用しているときは、フォトセル受光部を 50cm 以上離してセットしてください。ストロボ光を受けず、不発光になることがあります。
- 同調発光させないとき「OFF」にしてご使用ください。
- 複数台を赤外シンクロ装置で使うときは、必ず各本体に1台ずつ赤外シンクロ受信器をセットしてください。発光しても同調発光しないものができます。

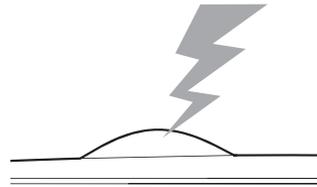
P.CELL

ON



OFF

他のストロボ光



10 過熱警報

長時間の連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったときは、出力表示 (Ws) ⑧が点滅し、ブザーの連続音で知らせます。

過熱警報が働いたとき

1. ストロボの発光をただちに中止してください。
2. メインスイッチ (MAIN) を一度 OFF にします。
3. モデリングランプスイッチ (MODEL) を OFF にします。
4. メインスイッチ (MAIN) を再び ON にすると、警報ブザーが停止します。内蔵の冷却ファンが働き、内部温度を下げますので、この状態で出力表示の点滅が止まるまで放置してください。



【ご注意】

- 過熱警報が働いたときに電源を OFF にしてしまうと、冷却ファンが停止するため、電源内部の温度が上昇し、電気回路が故障する恐れがあります。
- 警告音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

11 モデリングランプの交換

モデリングランプはハロゲンランプ AC100V200W まで使用できます。



注意

- 使用している電源部のメインスイッチ (MAIN) ①を「OFF」にし、必ず AC コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- 消灯直後は非常に高温です。
十分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。



【ご注意】

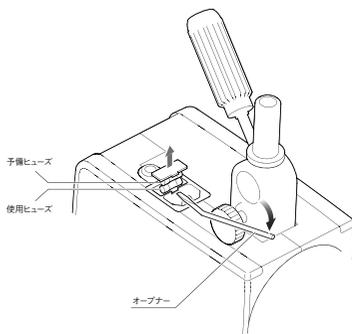
- ハロゲンランプの定格は必ずお守りください。定格以上のハロゲンランプを使用すると、発熱で故障や損傷の原因となります。
- ハロゲンランプやキセノンランプは素手で触れないでください。指紋やよこれが付いたときは、アルコールなどで拭き取ってください。

12 ヒューズの交換

■ヒューズは付属のオープナーを使用して交換します

1. 付属のオープナーをヒューズホルダーの蓋の横穴に差し込み、図のように蓋を押し上げます。
2. ヒューズホルダーには 2 本のヒューズが入っています。手前に予備ヒューズが入っていますので、奥に入っている断線したヒューズと交換してください。指定の定格のものと交換してください。

(ヒューズの定格 8A)



注意



- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC コードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。定格以外の使用は発火や火災の原因となります。

13 ガラスグローブの着脱

別売のガラスグローブを取付ける、または取り外しをするときは次の手順で行ってください。

■ 取り付けるとき

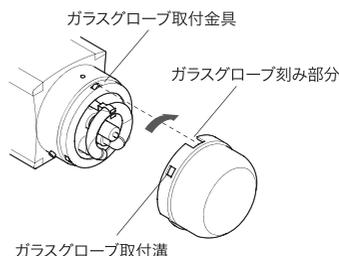
本体3ヶ所のガラスグローブ取付金具にガラスグローブの刻み部分を合わせます。次にガラスグローブを時計回りに回転し、本体のガラスグローブ取付金具とガラスグローブのガラスグローブ取付溝を合わせ取付を完了します。

■ 取り外すとき

ガラスグローブを時計回りに回転し、本体のガラスグローブ取付金具とガラスグローブのガラスグローブ刻み部分を合わせ、手前に引き抜きます。

【お願い】

- ガラスグローブの取り付け、取り外しのときはキセノンランプ、モデリングランプを破損しないよう注意して行ってください。

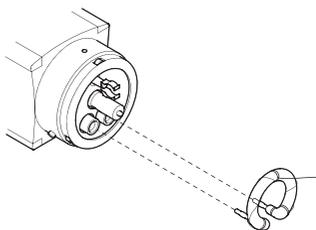


14 キセノンランプの交換

■ はじめにモデリングランプをはずします。

■ キセノンランプをはずします。

1. キセノンランプと放電管固定金具を固定しているワイヤーを解き、放電管固定金具からランプを浮かします。
2. キセノンランプの電極を止めているガイシを持ちまっすぐ引き抜きます。
3. 交換に用意をしたキセノンランプのガイシ部分を持ち差し込みます。このときは極力ガラスに手を触れないようにビニール袋に入れたままでおこなってください。
4. キセノンランプの中心を放電管固定金具に差し込みワイヤーで固定します。



注意



- キセノンランプの交換は必ず本機のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、ACコードのプラグをコンセントから抜いて60分以上経過してから行ってください。
- 電極には高電圧が残っていますので、直後の作業は絶対に行わないでください。

15 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のACコード、シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

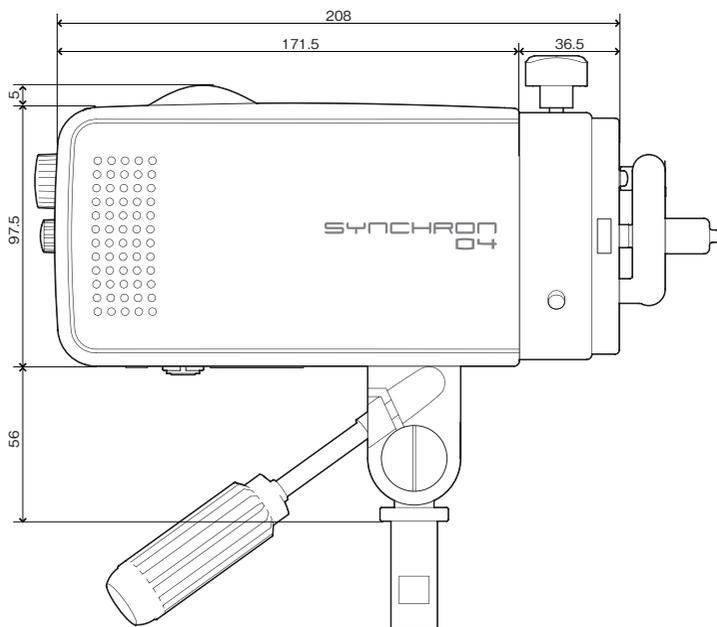
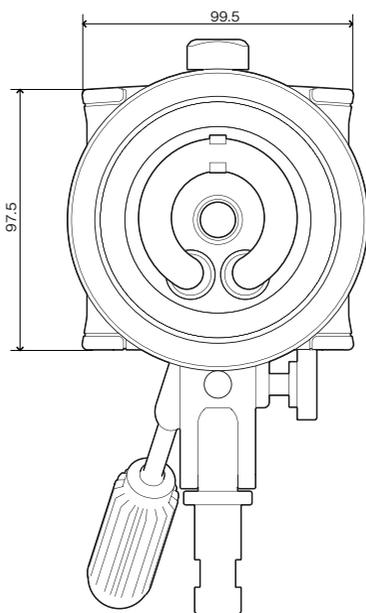
また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

16 仕様

品 名	SYNCRON-04
型 式	SYNC-04
ヒューズ定格	ストロボ用 8A(内蔵)
最大出力	400Ws
ストロボ調光方式	電圧調光
調 光	エンコーダーによるFULL～1/64 1/6EVクリック調光
出力表示	7セグメント(3桁)
キセノンランプ	400Ws ハードガラス
モデリングランプ	ハロゲンランプ(ブルーコーティング) AC100V/200W以下
モデリング調光	無段階調光とON/OFFスイッチ付
充電時間	約2.4秒以下(100V/50Hz) 約2.1秒以下(100V/60Hz)
充電サウンドモード	充電完了音/OFF/充電中音
完了ランプ	充電完了で点灯。パネル面及びスレーブセンサー内
不発光警報	充電完了ランプ点滅及び連続音
過熱警報	出力表示点滅/警報音
シンクロソケット	ホーンジャック 1ヶ
シンクロ電圧	12V
フォトセル	有り(OFF/OFFスイッチ付)
テスト発光スイッチ	有り
閃光時間	400Ws時 約1/1000
冷却ファン	有り
寸 法	208(w)×97.5(h)×99.5(d)
重 量	2.0 kg
適合リフレクター	CXタイプ

●本仕様は2007年8月現在のものです。改良のため予告なく変更することがあります、あらかじめご了承ください。

17 寸法図



MEMO

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

	愛情点検 こんな症状はありませんか		このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感ずる ●その他の異常や故障があるとき 		

- ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。
- 上記のような症状がなくても1年に1~2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET COMET株式会社
 本社 / 〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-4-6 TEL.03-3264-8621 FAX.03-3264-8624
 E-メール mail@comet-net.co.jp インターネットホームページ http://www.comet-net.co.jp

札幌営業所	〒064-0805	札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.011-561-2488	FAX.011-563-2620
仙台営業所	〒981-8003	仙台市泉区南光台4-29-25	TEL.022-727-6521	FAX.022-727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023	東京都江東区平野2-16-20	TEL.03-5245-3831	FAX.03-5245-3835
名古屋営業所	〒464-0075	名古屋市中区千種区内山3-1-1	TEL.052-735-9077	FAX.052-735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015	大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.06-6536-0671	FAX.06-6536-4020
広島営業所	〒730-0051	広島市中区江波西1-7-16	TEL.082-293-0075	FAX.082-293-0076
福岡営業所 営業課	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.092-411-1202	FAX.092-411-1209
東京営業所 コマーシャル課	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.03-3264-8625	FAX.03-3264-8628
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015	大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.06-6536-1667	FAX.06-6536-4020
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.092-411-1254	FAX.092-411-1209
海外事業部	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.03-3264-8622	FAX.03-3264-6385
産業機器部	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.03-3264-8692	FAX.03-3264-8627
ストロボクリニック部 本部	〒135-0023	東京都江東区平野2-16-20	TEL.03-5245-3834	FAX.03-5245-3836